

大阪府生活協同組合連合会 主催

生協理事・監事視察（石川県）

2024年10月2日（水）～3日（木）

メンバー（理事長、理事、監事、職員、計17名）

- ・大阪いずみ市民生協 7名
- ・おおさかパルコープ 4名
- ・生活クラブ大阪 1名
- ・大阪府生協連 2名
- ・大阪よどがわ市民生協 3名



行程

10月2日

11:00 金沢駅よりレンタカーにて移動

12:30頃 コープいしかわ のと北部センター 訪問

14:00頃 輪島市町野町 着

～19:00頃 炊き出し（焼きそば400食）

22:30頃 宿舎（七尾市 和倉温泉）着



10月3日

8:00 宿舎発

10:00頃 輪島市町野町 到着

～13:00頃 炊き出し（お弁当 400食）

16:00 金沢駅到着



石川県における被害概要

・令和六年能登半島地震

2024年1月1日16時10分能登半島北部を中心に、M7.6最大震度7を観測する震災が発生。家屋倒壊や土砂災害、津波などにより死者は200人を超えるなど甚大な被害が発生した。

・令和六年九月豪雨災害

9月21日、線状降水帯などによる影響で能登半島北部を中心に、大雨を観測。9月の平年のひと月における降水量の二倍以上の記録的大雨となった。輪島市・珠洲市・能登町を中心に、停電、断水、床上、床下浸水、河川反乱やがけ崩れなどによる通行止めなど甚大な被害が発生している。

◎炊き出し風景



(一日目) 焼きそば 400食



(二日目) お弁当 400食



◎輪島市内



トイレカー



仮設浴場

◎今回の視察から学んだこと、今後に生かしたいこと

- ・生協で行くことの意義、地域や他団体とのつながりの大切さ
- ・助け合い、困ったときはお互い様の精神
- ・日々の心構え、防災意識、備え
- ・他生協との交流
- ・長期的な支援の継続
- ・発信していくことの大切さ



最後に（感想）

普段はテレビなどの画面越しにしか見ていなかった震災の爪痕や、豪雨の被害の現実を目の当たりにして、改めてその凄まじさを感じました。

大阪にいるだけではわからないこと、現地のテレビなども内容が違って、どうやって情報を得たら良いのかといったことも考えさせられました。（山口）

想像以上の被害を目の当たりにし、被災地の方々の暮らしを思うと心が痛みます。と同時に自然の力の大きさ、怖さを感じました。

地震は備えでしか出来ませんが、豪雨災害は地球温暖化が関係してるのではと思います。線状降水帯や記録的短時間大雨、10年に一度の〇〇など、水害は何処にでも起こります。

今回の活動を通じて、自分が出来る事は小さな事ですが温暖化に対し日々の暮らしの中で考えて行きたいと思いました。

そして、被災地の方々の1日も早い復興を願い継続的な支援が必要と思いました。（川西）

今、必要な支援とは何なのか。

ボランティアをしてどれだけ役に立てたか。こんな事を考えがちですが、

私たちの今回の視察の意味は、現状を見て、感じ、伝えることです。

視察を終え、頭の中は能登の事でいっぱいです。

能登を思う事、これからも関心をもち発信し続けていきます。



雨が降る中の活動で不安もありましたがその事で被災地の方々の恐怖や疲労感、絶望感を感じました。

今はとにかくたくさんの方々の力が必要です。生協の力で支援を続けていき、そして復興する様子を一緒に見たいです。（金子）